



あれ？これ？それ？だより

2020年7月号 No. 2

発行責任:公益財団法人豊郷病院 認知症疾患医療センター長 成田 実

豊郷病院に認知症疾患医療センターオアシスを開設して25年が経ちました。4年前には在宅療養サポートセンターとよサポを開設しました。オアシスやとよサポでの相談では解決できない認知症の方が入院できる認知症対象の地域包括ケア病棟を開設して1年が経ちました。

1年間、地域の皆様のおかげで運営できたことに感謝の気持ちを込めて、この病棟の様子をお知らせする「あれ？これ？それ？だより」を発行することにしました。認知症を持つ人やそのご家族がどんなことに困っておられるのか、病院としてどんな治療をしているのか、どんなケアを提供しているのか、入院した結果どうなったのかなどを皆さんと共有することを目的とします。不定期で気ままな発行ですが、病棟のことを知って活用していただき、認知症の人とご家族の方が「共生」でき、進行を穏やかにできる「予防」の一助になればうれしいです。

オアシスのご予約は地域連携室へ 35-0001 認知症のご相談はとよサポへ 35-5096



テーマ「なんで急に怒ってばかりいるの？何が起きたの？」

86歳のAさん、日ごろはとても温厚な方なのに、デイサービスで急に怒り出し、周りの人への心無い言葉も言うようになってきました。時には手が出てしまうこともあります。ご家族の介護負担も増えてきたので、かかりつけ医に相談されました。かかりつけ医の先生からのご紹介で当院に入院することになりました。こういう経緯で入院されてくる患者さんは少なからずおられます。

入院後、患者さんとの信頼関係を築きながら、なぜこの方が怒ってしまうことになるのか、その原因を探ることと、どのような対応で気持ちを少しでも落ち着けていただけるのかをみていきます。地域のケアマネさんやデイサービススタッフ、ご家族の方々からは患者さんのその人らしさをお聞きします。体の不調がないかチェックをします。24時間の暮らし方で困惑されていることはないかなども観察します。



身体の不調が原因でBPSD(行動・心理症状)を引き起こしている場合は、治療を開始し体調が戻れば元に戻ります。患者さんのその人らしさを知って、患者さんのこだわりやペースを守ることで元の状態に戻ることもあります。あるいは今までできていたことができなくなってうまくいかないことに困惑しておられることもあります。環境やお世話の方法を変えることで解決できます。

年齢を重ねると心身ともに余裕はなくなります。このAさんは、脱水が原因でBPSDを引き起こしていました。入院後、食事と水分もしっかりと摂ることができ、安定して療養され、ご家族に脱水予防の方法をお伝えして1か月で退院されました。半年後の受診時には、畑仕事もされ、デイサービスやショートステイも利用されていました。認知症の進行はなくお元気に過ごされていました。変化のある時に、かかりつけ医の先生からのご紹介を受けることで今までの生活が継続できました。

「あれ？なんかおかしい！原因を探って早期解決を目指しましょう！！」